

# MC Parser

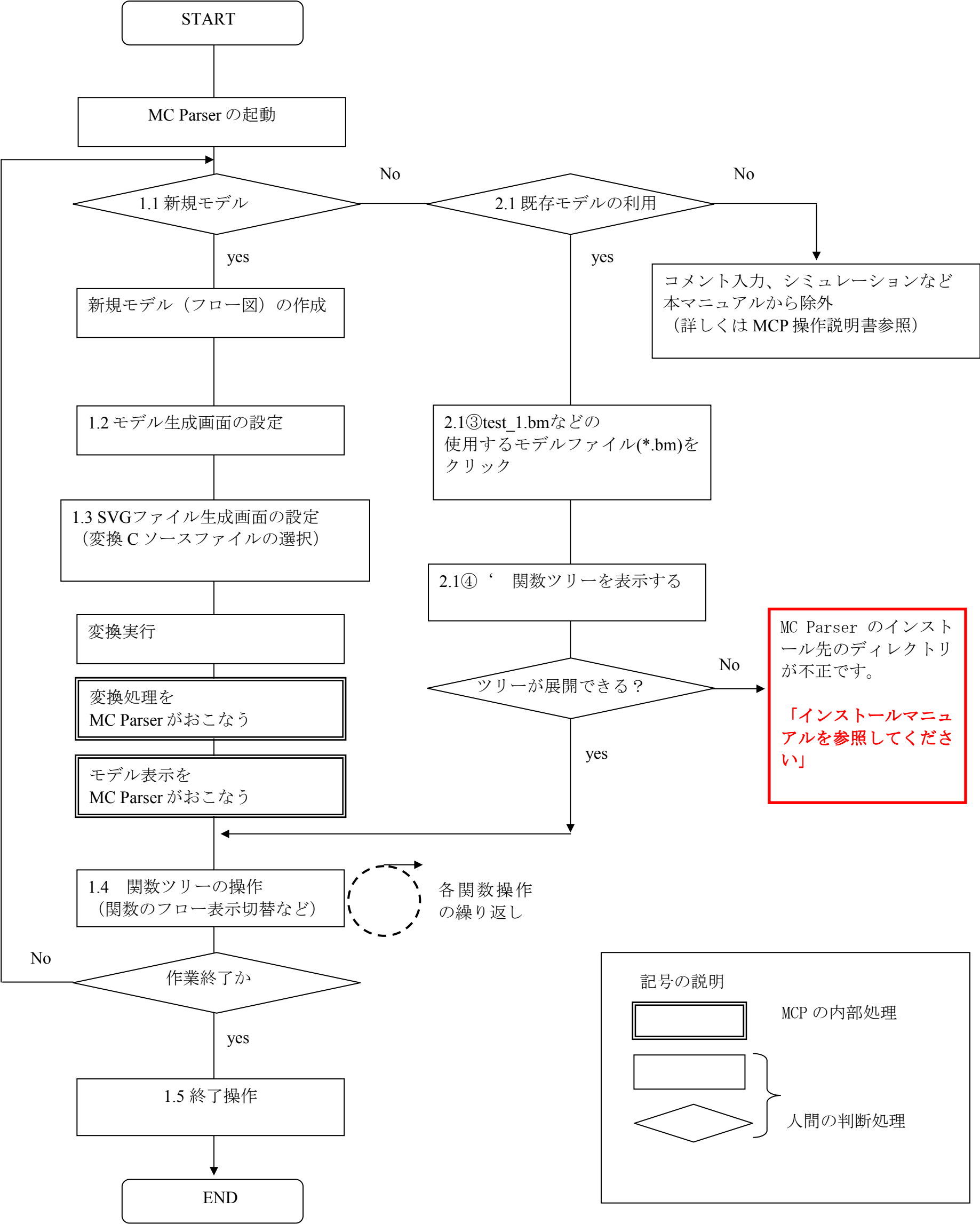
## クイックマニュアル (主要操作)

平成 25 年 7 月 31 日

ネットフォース株式会社

本クイックマニュアルでは、MC Parser の操作に慣れて頂くため、本来の目的である C ソースファイルをフロー図に変換する操作だけをご説明いたします。詳細については、操作説明書を参照してください。

## MC Parser の主要操作フロー



## 1 操作説明

サンプルプログラムの sankaku.c を入力し、フローチャートに変換するプロセスをご説明いたします。

「前提条件」

- Sankaku.c は [http://www13.plala.or.jp/t-yagyu/kenkyu/kenkyuHtml/ken\\_MC\\_down.html](http://www13.plala.or.jp/t-yagyu/kenkyu/kenkyuHtml/ken_MC_down.html) でダウンロードして頂きましたファイルです。
- ダウンロード先はデスクトップとします。
- フォルダ名：sankaku とします

### 1.1 新規モデル生成

初期画面のメニュー項目で、「ファイル->新規モデル作成」を選択しモデル生成画面を表示します。

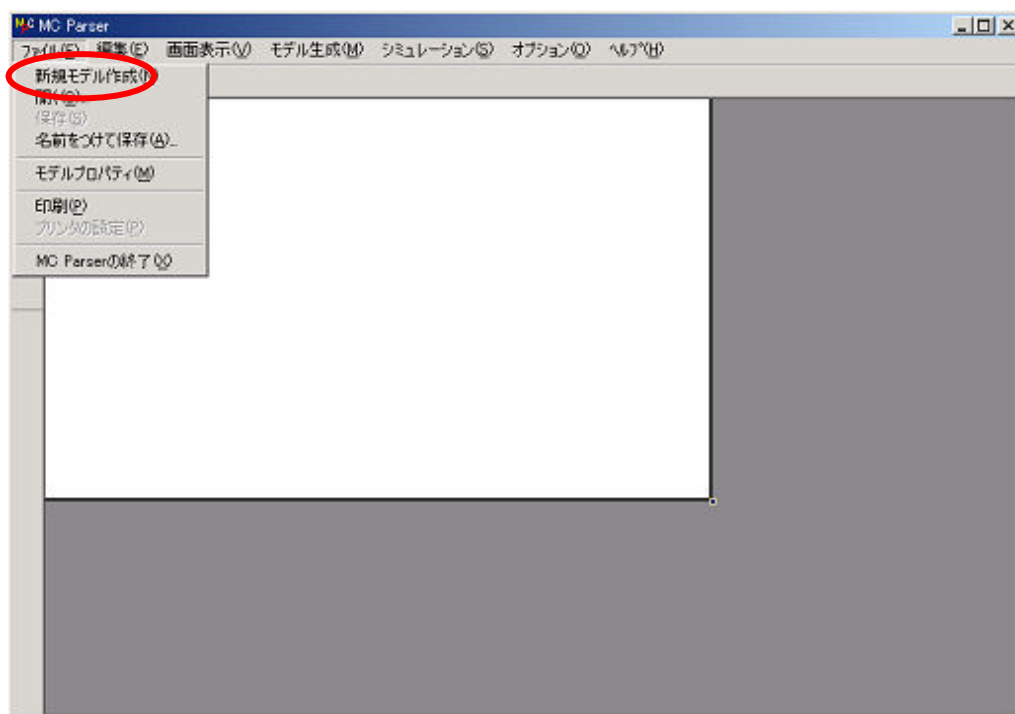


図 1-1メイン画面(新規モデル作成)

## 1.2 モデル生成画面の設定

図 1-2 モデル生成画面のモデル格納先、モデル名、C ソースディレクトリ項目を設定します。

- ① モデル格納先：参照ボタンを押下し、モデル格納先ディレクトリを選択。ここでは「sankaku」とします。
- ② モデル名：自由に設定できます。ここでは「test\_1」とします。
- ③ C ソース入力ディレクトリ：参照ボタンを押下し、ディレクトリを選択し設定するか①をコピーしてペーストします。ここでは①をコピー&ペーストします。
- ④ OK ボタンを押下して、モデル生成画面を終了します。終了しないときは、①、②、③のいずれかが設定されていけませんので、設定してください。

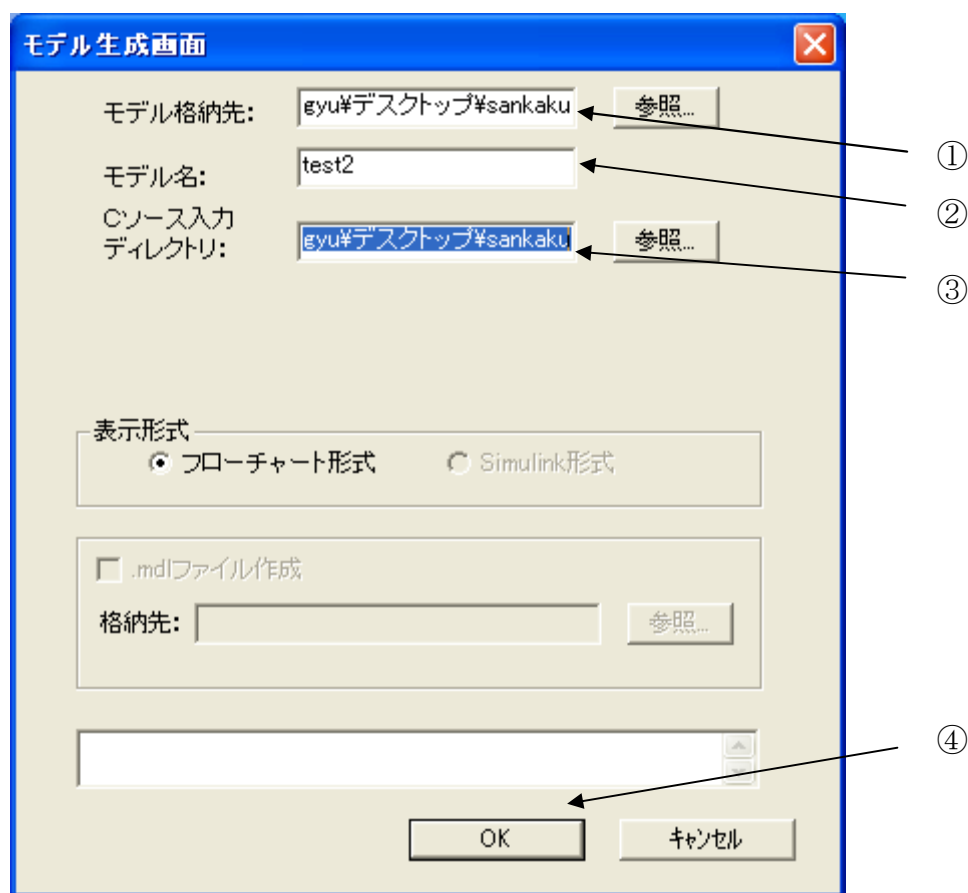


図 1-2モデル生成画面

新規モデル設定の場合は設定終了後、モデル生成画面の「OK」ボタンを押下すると図 1-3① SVG ファイル生成画面を表示します。

### 1.3 SVG ファイル生成画面の設定（変換 C ソースファイルの選択）

- ① 変換する C ソースファイルを選択します。指定したディレクトリ中の C ソースファイル名(\*.c)と ALL が表示されます。すべてのファイルに対して生成を行う場合は ALL を選択します。（新規選択した場合）今回は、ALL と sankaku.c が表示されますので、ここでは ALL を選択します

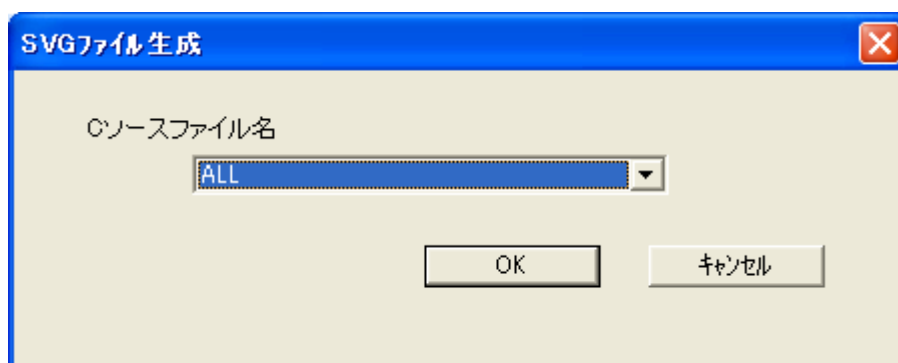


図 1-3① SVG ファイル生成画面

- ② 「OK」 ボタンを押下する。SVG ファイルが生成され図 1-3② モデル表示(ビューワ)画面（ビューワ）のように生成されたモデルが表示されます。

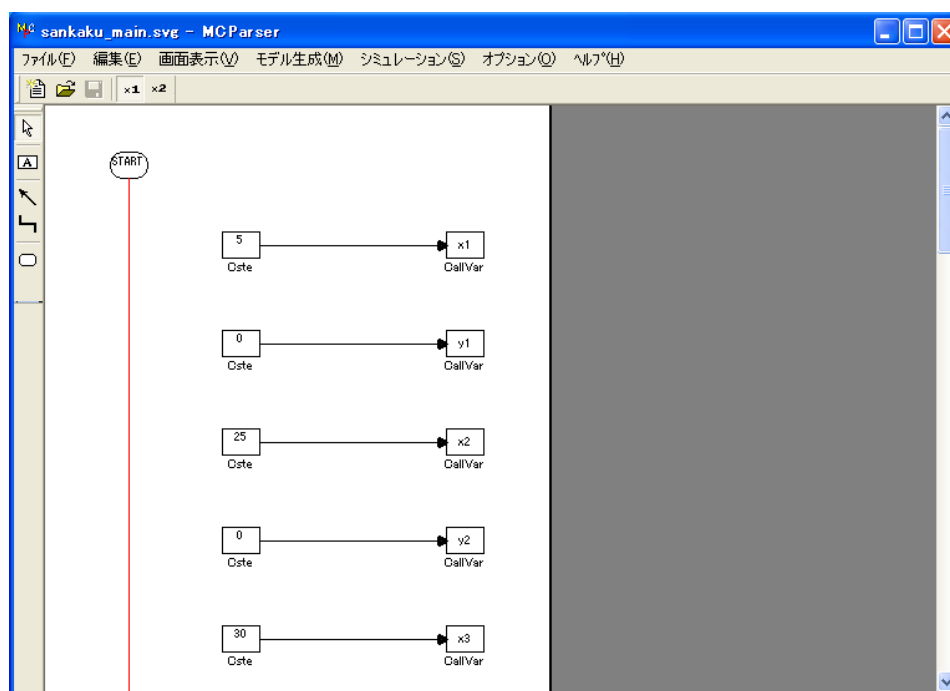


図 1-3② モデル表示(ビューワ)画面

## 1.4 関数ツリー

初期画面のメニュー項目で、「画面表示->関数ツリー」を選択しモデル生成画面を表示します。

関数ツリー画面を表示します。関数名を選択し、マウス左ダブルクリックを行うとモデル表示、マウス右クリックを行うと C ソースを表示します。「上へ」のボタンを押下すると、関数の処理内容のブロックを表示していた場合、元の関数に表示を切り替えます。

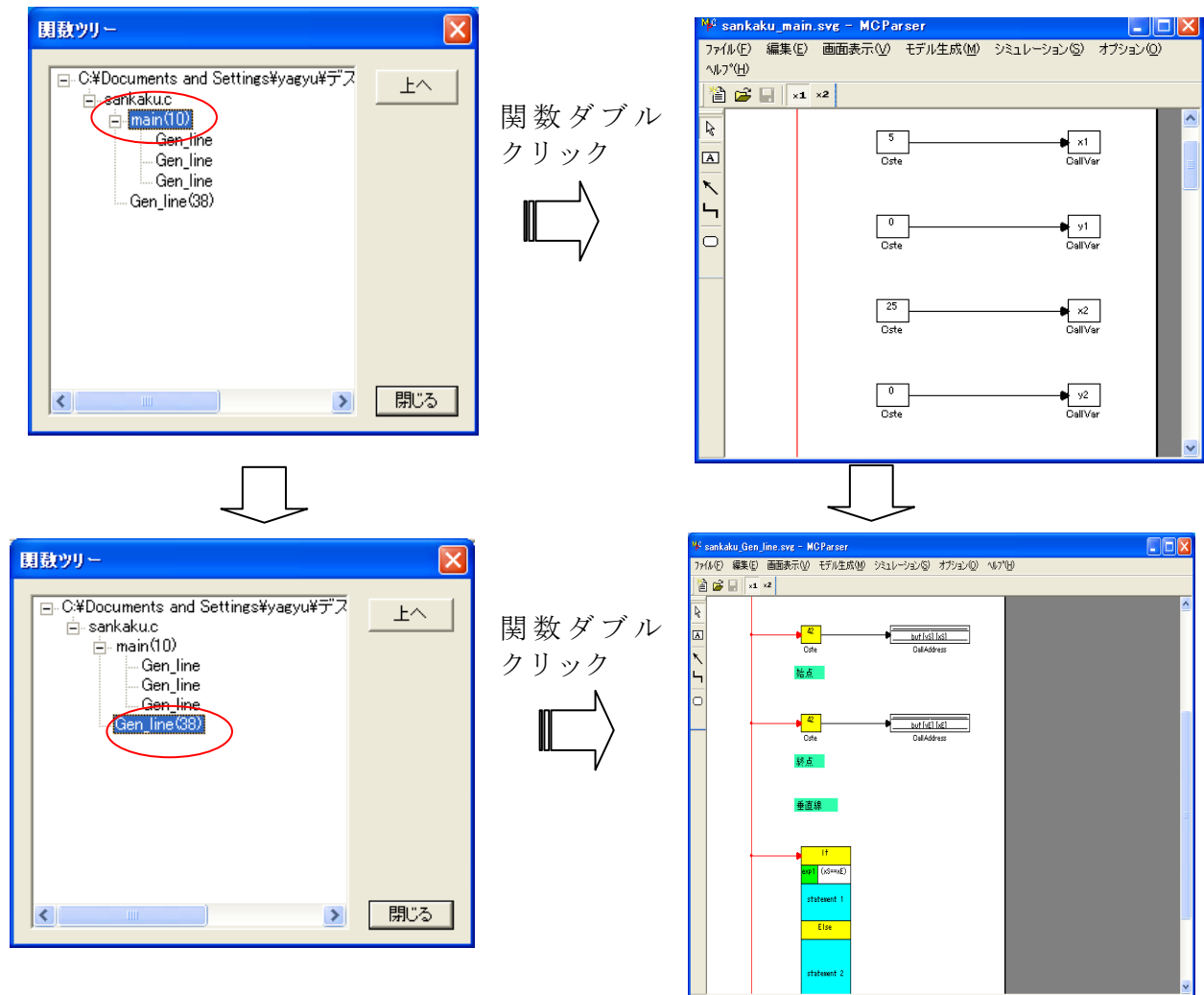


図 1-4 関数ツリーの操作

## 1.5 作業終了

## 2.1 既存モデルの利用

新規モデル作成により、フローチャートを利用します。

メニュー項目で、「ファイル->開く」を選択し作成済みのモデルを表示します。

### ①開くを選択

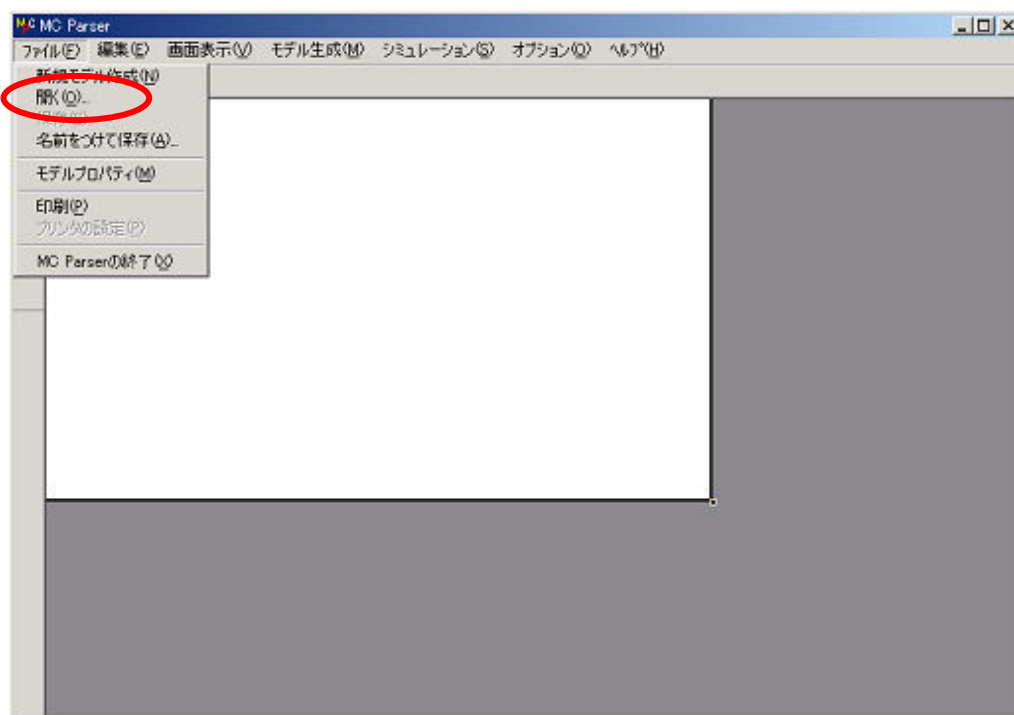
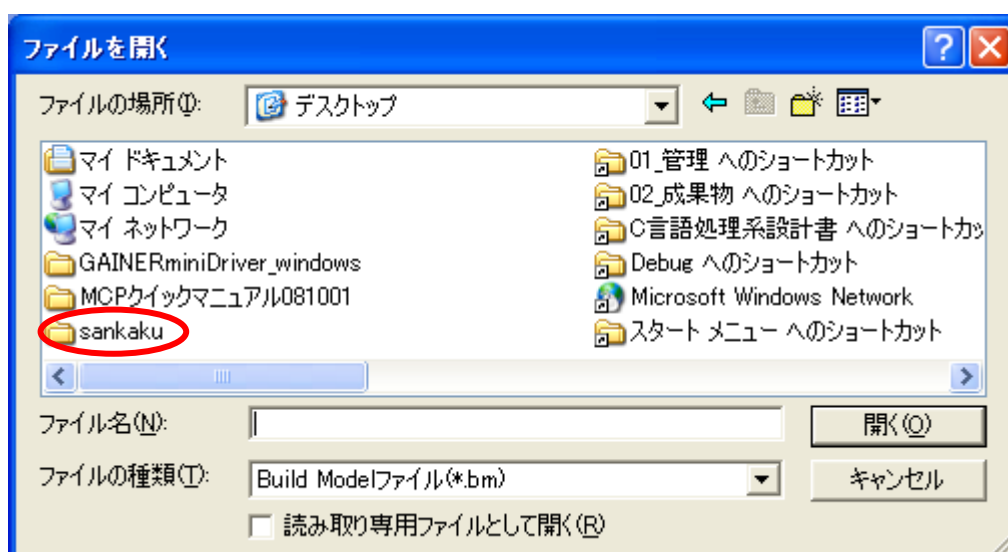
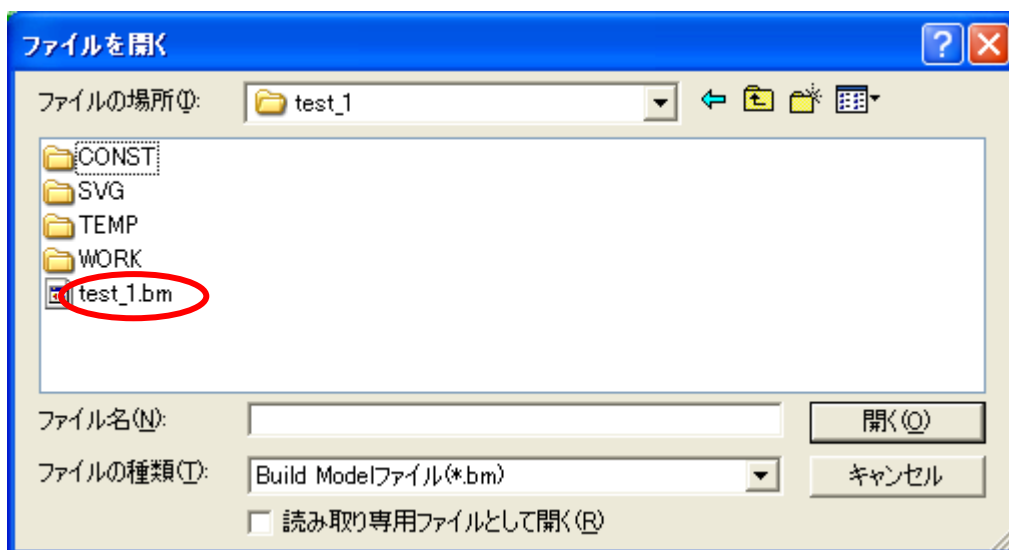


図 1-4メイン画面(新規モデル作成)

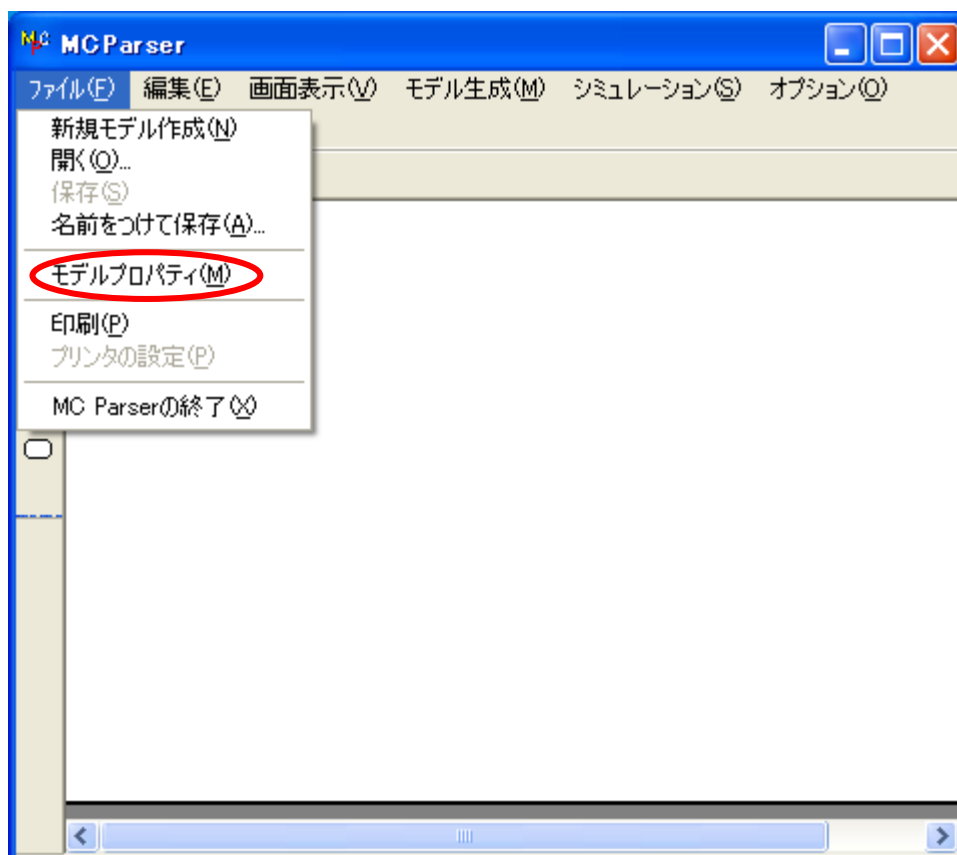
### ②「ファイルを開くダイアログ」で作成済みの sankaku を開く



- ③ モデル名 test\_1 フォルダ内の test\_1.bm ファイル（テスト\_1 の各種プロパティが格納されています）を開きます



- ④ モデルのプロパティを確認する場合、モデルプロパティを選択する





⑤前回設定した内容がモデル生成画面で表示されます。

モデル生成画面

モデル格納先: gyu#デスクトップ#sankaku 参照...

モデル名: test\_1

ソース入力ディレクトリ: C:#Documents and Setting 参照...

表示形式

☒ フローチャート形式 ☐ Simulink形式

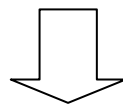
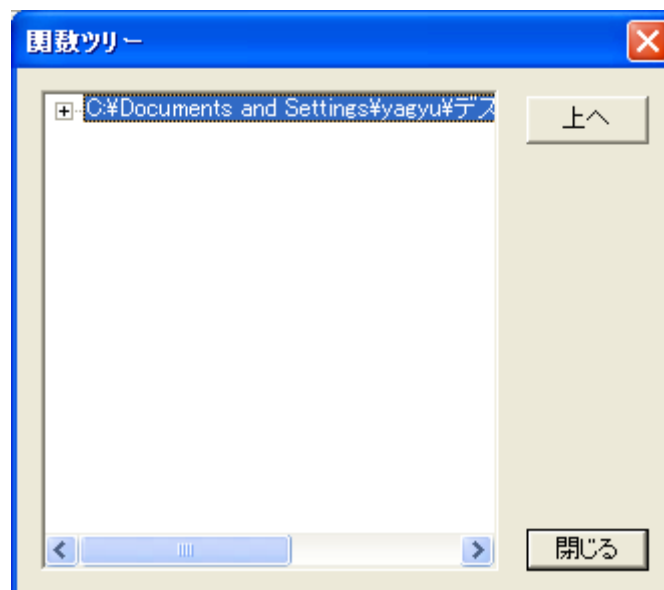
☐ .mdlファイル作成

格納先: 参照...

OK キャンセル

⑥ 確認を終えたら、OK ボタンを押下します。

2.1④ ‘ \*.bm ファイルを確認しない場合、メニュー項目の画面表示->関数ツリーを選択し、フローを表示する



モデルの中身を確認する

